

軽量パイプ・単管パイプ

CKKハイテン (STK-700 $\phi 48.6 \times t1.8$) プラスI

特殊構造用軽管パイプ



■特長・用途

- 頑丈（従来のHITEN700より強度が高く、外力作用に強い）
- コスト削減
（25%の重量軽減による作業負担の軽減と運送コストメリット）
- ピン加工・切断加工・ジョイントにも従来通りに使用が可能
- 納期管理
- 純国内産使用（特化した対称構造スパイラル鋼管の開発）
- 破断位置「A」（品質強度の均一化）

※各サイズ毎に、色分しています
 軽量パイプφ48.6×t1.8mm×L
 単管パイプφ48.6×t2.4mm×L
 ※販売品につきましては、キャップは付いておりません
 ので、別途ご購入ください。

	鋼材の引張試験及び静弾性係数試験 報告書		一般財団法人 建材試験センター 工事材料試験部				
			川上 修一				
受付番号		工試第F-2019080285-201908005651		相模試験室			
受付日		2019年 8月14日		〒273-0047 千葉県船橋市源郷 3丁目18番26号			
発行日		2019年 8月29日		電話番号 047 (439) 62386 試験監督者 高藤典明			
工事名称 中央鋼管建設株式会社 定額強度試験報告書							
1. 試験計							
種類の記号	STK-700						
厚さ	STK-700 : 1.8mm						
形状・寸法	12A号 (JIS Z 2241)						
数量	3個						
備考	・試験片は、搬入された3個の鋼管(φ48.6mm, L=400mm) から12A号試験片を1個ずつ採取した。 ・製品名: ハイテンプスライ						
2. 試験内容							
試験方法	JIS G 3444 (一般構造用炭素鋼鋼管) JIS Z 2241 (金属材料引張試験方法・オゾン付法, Rp0.2) に準じる。 試験片側面の対称な位置、縦2箇所にひずみゲージ(決長5mm、抵抗値120Ω)を貼り付け、データロガーを使用してひずみ測定を行った。						
試験日	2019年 8月27日						
試験場所	相模試験室						
試験責任者	菅田健太郎						
3. 試験結果							
種類の記号 及び厚さ	番号	厚さ mm	耐力 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	破断位置	ヤング係数 ×10 ⁴ N/mm ²
STK-700 1.8mm	1	1.74	722	797	7	A	2.03
	2	1.75	684	767	8	A	2.15
	3	1.73	707	796	7	A	2.13
備考	・伸びは、標点間隔を50mmで測定し求めた。 ・応力-ひずみ曲線を図-1～図-3に示す。						